

2015（平成27年）度 事業計画

新規	事業名		発注者	事業計画	担当
(1) 調査研究事業					
	NPO関連資料のファイリングとデータベース化		自主	新潟日報・読売新聞・毎日新聞・朝日新聞・日本経済新聞などから、NPOに関連する記事を抜き出しストック。サポートスタッフの協力を得て、当会に寄せられるチラシやパンフレットを分野別にファイリングし、事業実施の参考や相談対応などに活用する。	全職員
	燕市協働環境調査		燕市	IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]と協働実施した「協働環境調査」を調査対象外自治体向けの研修とセットで提案していく。今年度は、燕市での研修（調査は前年度に受託、実施）と阿賀野市での調査・研修を予定している。	石本 小林
	阿賀野市協働環境調査		阿賀野市	IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]と協働実施した「協働環境調査」を調査対象外自治体向けの研修とセットで提案していく。今年度は、燕市での研修（調査は前年度に受託、実施）と阿賀野市での調査・研修を予定している。	石本 小林
(2) 情報支援事業					
	NPO図書館		自主	NPOに関する書籍・資料の閲覧・貸し出しサービスを実施する。	小比田 金子み 天城
	「にいがたNPO情報ネット」管理運営事業		新潟県 県民生活課 (新潟県NPO・地域づくり支援センター事業)	既存コンテンツを活用しサイトの活性化を図る。意見交換会などを利用しサイトの登録者増加を狙う。コンテンツを活用し運営基盤の強化や団体の価値向上のためのノウハウを発信する。 ■にいがたNPO情報ネット： http://www.NPOniigata.jp ■登録目標：新規団体 40・ユーザ40計 80増	小林 尾崎
	「さんかくむすび」管理運営事業		新潟県 県民生活課	動画機能を活用し団体やイベントのPRし、市民と団体のつながりづくりを促進する。チラシ配布を実施する際、さんかくむすび登録の前提条件となる「CANPAN」の登録について、入力例のフォームを作成し登録を促す。外部webサイトの情報を活用し、サイトの活性化につなげる。 ■さんかくむすび： https://www.sankakumusubi.jp/ ■登録目標：総登録数、団体 20・個人 50計 70増	小林 尾崎
	住みたい新潟・若者情報サポート事業		新潟県 県民生活課	新潟県出身で県外在住の若者を対象に、新潟の暮らしの魅力や住宅支援情報をポータルサイトと情報誌で発信。U・Iターンの促進を図る。 ■PCサイト： http://www.niiget.jp ■携帯サイト： http://www.niiget.jp/m ■アクセス数：年間約400万件 ■情報誌発行部数：年3回、各8,000部	小比田 尾崎
(3) コーディネーション事業					
	NPO人材バンク事業 (21.5世紀プロジェクト)		自主	昨年度同様、担い手マッチング事業として広報し、昨年度の団体に対し内容の更新依頼などより積極的に活用して貰う。新潟県社会活動参加促進ポータルサイト「さんかくむすび」を活用し、ボランティア募集として活用する。また、サポートスタッフ制度を見直し、事業全体の枠組みを再構築する。	大滝理事 小比田 金子み 天城
	NPO応援ローン		自主	新潟県労働金庫の融資制度「NPO応援ローン」について、円滑な事業運営を進めるため「公益性審査委員会」の運営を担う。	天城 金子み
	トキっ子くらぶ代理店事業		グローバルマーケティング株式会社	佐渡事務所の職員不在のため、新潟事務所にて対応。佐渡への出張時を利用して、佐渡担当理事の協力も得ながら営業を継続する。	計良理事 石本 小林
○	佐渡市福祉版コンパクトシティ事業		佐渡市 高齢福祉課	佐渡市において、地域の特性に応じた自助・共助・公助の関係を確立する「福祉版コンパクトシティ構想」の実施に向け、モデル地域でのワークショップ運営及びコンサルテーションを実施する。	井上 小林

【 事業計画 別表 】

	<p>トキをプロデュース ・野生復帰推進事業</p>	<p>新潟県 環境企画課</p>	<p>トキの野生復帰に向けた社会環境整備のため、新潟県の環境イメージを高めるとともに企業のCSR活動、学校や各種団体の環境保全活動のコーディネートを行う。また、主に首都圏のマスコミ関係者などを対象に、佐渡の魅力やトキ及びトキ野生復帰活動に関する情報をツアーにして提案する。</p>	<p>計良理事 石本 小林</p>
--	--------------------------------	----------------------	--	---------------------------

新規	事業名		発注者	事業計画	担当
	胎内市集落点検事業		胎内市	学生を中心とした若者を集落に招き、地域住民とともに、集落の散策調査及び検討会を行う。事前に「集落基礎調査」及び、全住民を対象とした「アンケート調査」を行い、その結果を踏まえて、若者・よそ者の視点を取り入れることで、地域住民単独では気づき得ない地域の課題・魅力の発掘を行う。	尾崎 小林
○	五頭連峰県立自然公園魅力向上事業		新潟県 新発田地域 振興局	地域住民によるワークショップ等を実施し、五頭連峰県立自然公園（出湯地区）の魅力向上のための取り組みを展開する。	小林 尾崎
(4) 人の支援事業					
	講師派遣事業		自主	NPOに関する講演、ワークショップ、会議出席等の依頼に対し、人員を派遣する。	井上 石本
	新潟県内NPO表彰事業 「がっとうとぐっと賞」 (21.5世紀プロジェクト)		自主	市民がもつ「未来を拓く力」に光を当て、さらに大きく育てるため、新潟をより幸せな社会へと変えていく可能性をもった活動やアイデアを募り、過去の実績ではなく、未来志向の観点から優れた取り組みを実施している団体を表彰する。	井上 石本 天城
○	助成財団助成金セミナー		(公財) 助成財 団センター	官民の助成実務担当者のレベルアップを目的に、より効果的な助成事業の実現、社会への貢献をめざし実施する。セミナーとシンポジウムの二本立てとし、公益財団法人助成財団センターとの共催とする。	井上 尾崎
	若者×NPOマッチングイベント		自主	県内の高校生、大学生、専門学校生が、市民活動のイベント等の企画・運営に携わるきっかけをつくり、NPO活動を体験する場を提供する。また、県内で活動するNPOを学生が知り、活動に参加するきっかけとなるイベントを3箇所で開催する。	小林 小比田
	NPO役職員研修事業 (21.5世紀プロジェクト)		自主	NPO役職員向けの研修プログラムの開発と実施を行う。 2014年度に実施した「NPO事務局セミナー」のニーズが高かったことを鑑み、県内中間支援組織との連携も視野に入れながら、継続して実施する。	石本 金子み 天城 小林
	インターンシップ事業		自主	学生や企業、各自治体から申し込みのあったインターンの受け入れ。受け入れ人数や期間については、申込者の希望を優先する。	小比田 天城
	地域づくり研修会「にいがた旬塾」		新潟ろうきん福祉財団 (新潟県NPO・地域づくり 支援センター事業)	県内各地で地域おこしに関わる人々が、個々の活動現場で活かせる知識を得るとともに、地域づくり実践者同士の交流を通して視野を広げ、地域内における連携の促進やさらなる活動の活性化に資することを目的として県内5箇所で開催する。	金子代表 尾崎 小比田
	地域づくりコーディネーター養成講座		新潟ろうきん福祉財団 (新潟県NPO・地域づくり 支援センター事業)	地域づくりコーディネーター育成のための「地域づくりコーディネーター養成講座」を全4日間の日程で開催。地域づくりの考え方や計画づくりのプロセス、住民や協力者の巻き込み方など、“現場”で使える講座を実施する。(会場：南魚沼市 日程：第1クール・10/17～18 / 第2クール・11/7～8)	小比田 小林
	魚沼市地域人材育成プラットフォーム事業		魚沼市	魚沼市の20代から40代の若者を対象にした、地域づくりのための研修事業を企画・運営する。	石本 小林
○	FAAVO新潟パートナー事業		株式会社 にこっと	相談対応のメニューとして提示する。クラウドファンディング普及啓発のためのイベント開催を1回程度計画する。	石本 小林
○	NPO事務支援事業		自主	NPO法人に限らず、ボランティアグループ、コミュニティ組織、自治会、社団法人や財団法人、研究会や協議会、単発事業等の事務支援を実施する。また、調査研究のデータや、設立以来10年余で蓄積したNPO運営・事務ノウハウを活かし、さまざまな団体の実情に応じたオーダーメイドの支援体制の構築を目指す。	石本 金子み 天城
	佐渡市地域コミュニティ活性化事業		新潟県 佐渡振興局	島内のNPOや地域団体を主なターゲットとし、コミュニティビジネス等についての学びを通じ、自らの活動・団体の活性化を促進し、持続可能で魅力あふれる地域づくりを目指す。	石本 小林
○	新潟市コミュニティ協議会支援事業		新潟市 市民協働課	新潟市において、概ね小学校区を単位とし、自治会・町内会を中心に、PTA、青少年育成協議会、老人クラブ、婦人会、NPO、民生・児童委員など、地域のさまざまな団体等で構成される99のコミュニティ協議会への支援を実施する。	井上 尾崎

新規	事業名		発注者	事業計画	担当
(5) 場の提供事業					
○	パブコメキャラバン事業 (21.5世紀プロジェクト)		自主	21.5世紀プロジェクトにおける「多様な人々が集う議論の場の県展開」事業のアウトプットを「パブリックコメントの検討」と設定し、新潟県または各市町村が実施するパブリックコメントのうち、特に当会のミッションに合致するテーマをピックアップし、県内各地で対話の場を設けることにより、適切に市民の声が地方自治体の施策に反映されるための仕組みづくりに取り組む。	石本 井上
	NPOなセレクトショップ ほわぎ		自主	NPOへの資金的支援および商品を通じた啓発を目的に、NPOが企画・開発した商品の販売やNPO関連書籍等の販売を行う。(販売場所は事務所内、インターネット、主催および共催イベントなど) FBページを新設予定。 ■ほわぎ : http://www.howagi.net/ ■携帯サイト : http://www.howagi.net/m/	小林 金子み 尾崎
(6) 協働促進事業					
○	新潟市防災教育「学校・地域連携事業」		新潟市 教育委員会	(公財)中越防災安全推進機構との協働(新潟市防災教育コンソーシアム)により、2015年度より5年間かけて、新潟市内全域の小中学校における防災教育を実施する。実施に際しては、地域との連携を念頭に進める。	井上 小比田 尾崎
	市民協働による 自殺対策ネットワーク事業		自主	県内NPOのうち、心によりそう「人の支援」を行う団体を冊子で紹介するとともに、行政や企業、NPO、市民など、多様なセクターと共に勉強会を地域と回数を増やし実施。	齋藤常務 金子み ほか3名
○	新たな協働パートナー連携事業「公民館」 (21.5世紀プロジェクト)		新潟市 教育委員会	公民館との協働により、社会教育に関する協働事業を展開する。	尾崎 小林
○	新たな協働パートナー連携事業「企業」 (21.5世紀プロジェクト)		自主	企業や行政を始めとする新たなパートナーとの協働の推進へ向けた事業を実施する。行政に対しては、2014年度に作成した提案資料を活用した営業活動を行う。また、企業に対しては、新潟CSR研究会(仮称)を組織して、当会が外部組織と協働しながら、企業との連携するためのセミナーを実施し、連携メニューの開発に繋げる。	金子代表 石本
○	GreenGiftプロジェクト		一般社団法人 環境パートナー シップ会議	日本NPOセンター、東京海上日動火災保険株式会社と関東環境パートナーシップオフィス(一般社団法人環境パートナーシップ会議)が地域の環境と協働して環境保全活動を行っているもの。(新潟県では、ネットワークふくしま方が協働相手)当会では、広報や当日スタッフとして参加、レポート作成の協力を行う。	石本
	子どものための児童館とNPOの協働事業 (通称: どんどこプロジェクト)		認定NPO法人日 本NPOセンター	地域の課題に主体的に取り組んできたNPOと、子どもの拠点として活動してきた児童館との連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気付き、地域ぐるみで学びあう環境を創出する。当会は、児童館の要請に応じて、地域の中間支援組織として助成事業のコーディネートを行う。	石本 富澤
○	阿賀野市市民参加型 子育てサービス運営計画策定事業		阿賀野市	子育てボランティア等の不足など、市民参加の子育て体制が脆弱であることから、子育て世代が望む「市民参加型サービス創造」と、それを実現するための「実施・運営計画策定」を子育て当事者、ボランティア、NPO法人、地域コミュニティ代表(高齢者団体、自治会等)、市で行うことにより、「市民参加・地域子育て」の機運醸成と基盤強化を図る。	金子代表 井上 石本
(7) 政策提言					
	政策提言		自主	引き続き必要な提言を行う。	井上 石本
(8) 交流事業					
○	ワークライフフォーラムinいがた		新潟ろうきん福 祉財団	新潟ろうきん福祉財団が主催する「経済・労働・福祉・生活に関わる問題等の動向や情報を得て、県内における活動の活性化をめざすとともに、広範な人々に役立つ知的情報の提供や、参加者相互の交流によりネットワーク構築の展開をはかる」ことを目的とした当該事業において、セッション及び交流会の運営を行う。	金子代表 井上 全職員
(9) 相談・サロン事業					
	相談事業		新潟県 県民生活課 (新潟県NPO・ 地域づくり支援)	NPOの設立・運営、各種依頼(情報提供・照会・取材など)に引き続き対応する。	全職員
(10) その他の事業					
○	(一財)ろうきん福祉財団出向		自主	相互の連携及び新潟県の民間非営利活動の基盤強化を目的として、一般財団法人新潟ろうきん福祉財団に職員を出向させる。	富澤常務 井上